

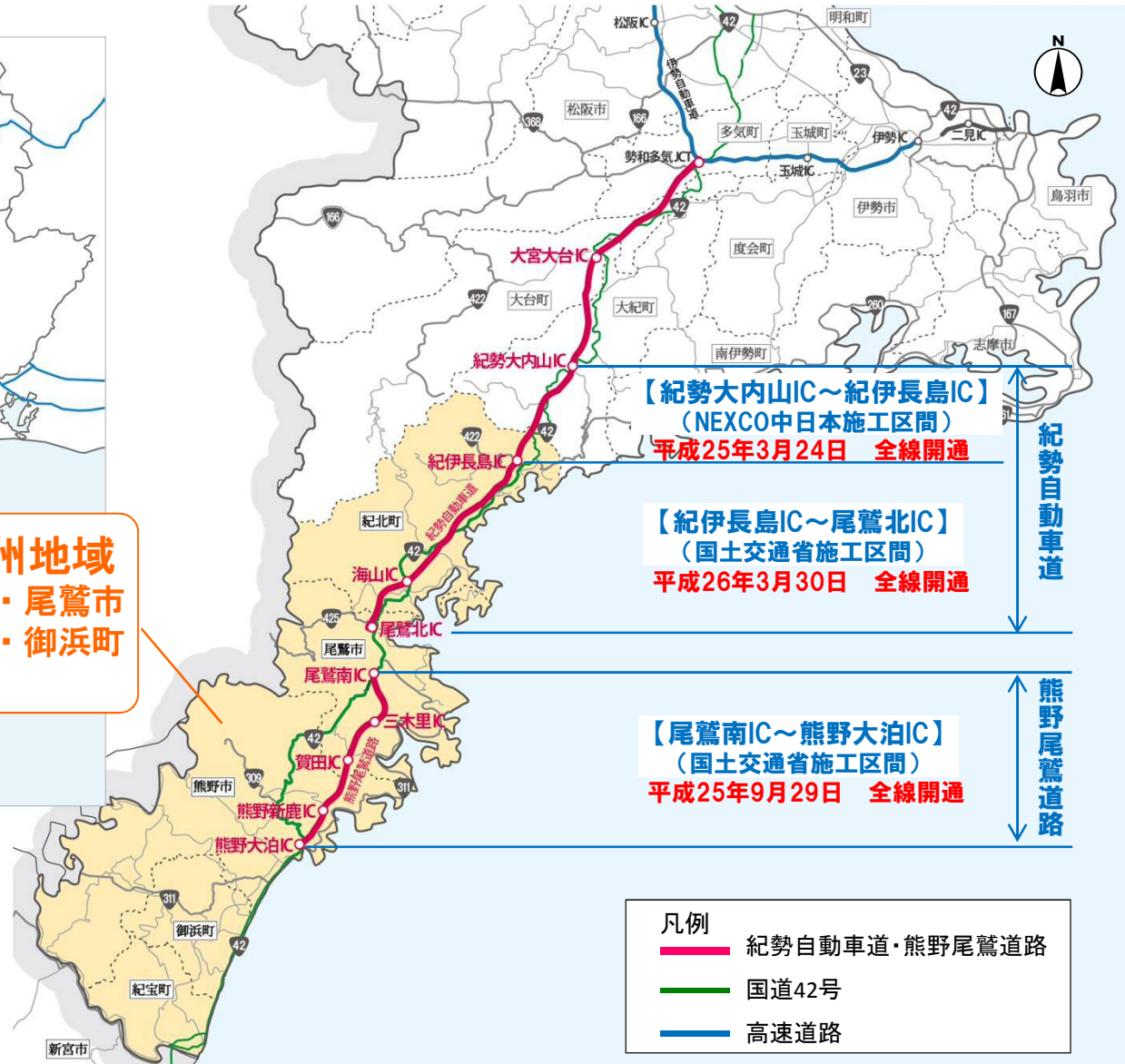
～高速ネットワークの形成～

■ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、東紀州地域は名古屋市などの各地域と高速ネットワークが形成されました。

■ 広域図



東紀州地域
 紀北町・尾鷲市
 熊野市・御浜町
 紀宝町



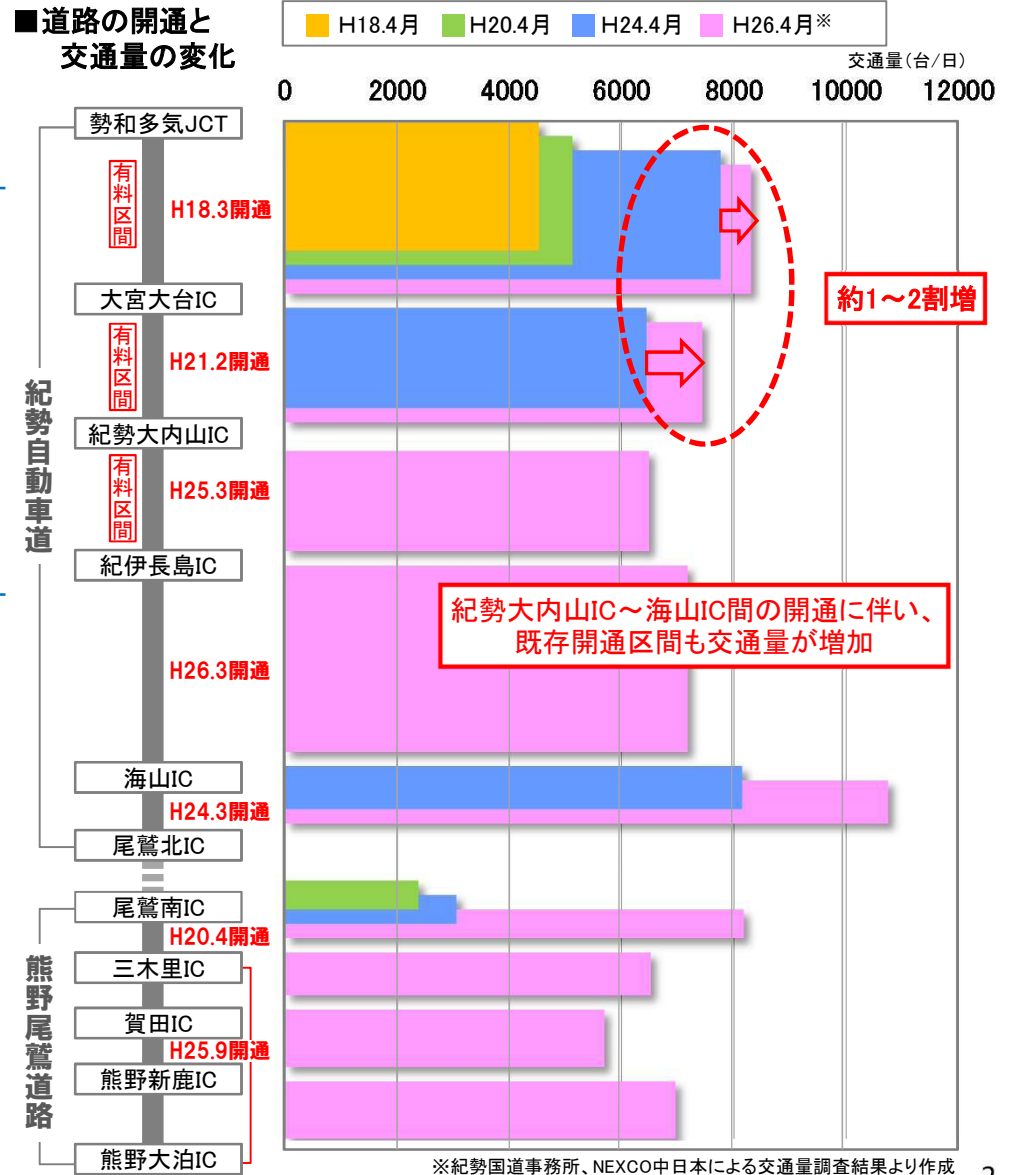
～高速ネットワークの段階的な形成と交通量の変化～

■ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通に伴い、既に開通していた紀勢自動車道の有料区間(勢和多気JCT～紀勢大内山IC)の交通量が約1～2割増加しています。



凡例
 ■ 紀勢自動車道・熊野尾鷲道路
 ■ 国道42号
 ■ 高速道路

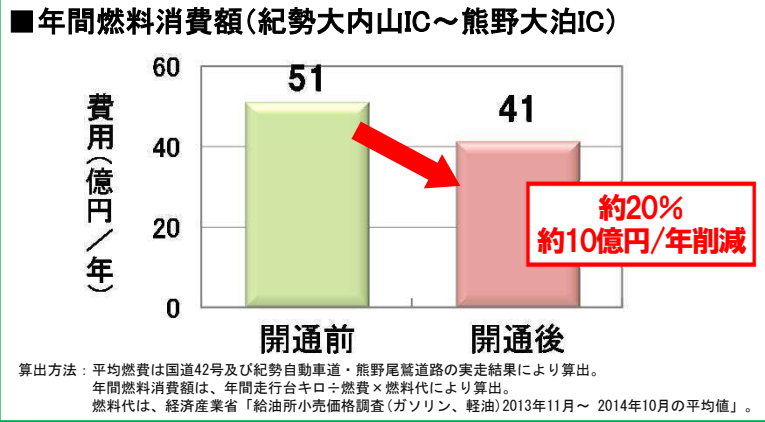
■ 道路の開通と交通量の変化



※紀勢国道事務所、NEXCO中日本による交通量調査結果より作成
 ※紀伊長島IC以南の交通量は平成26年5月15日(木)の調査結果

～走行経費の削減(峠の回避により燃料消費量が減少)～

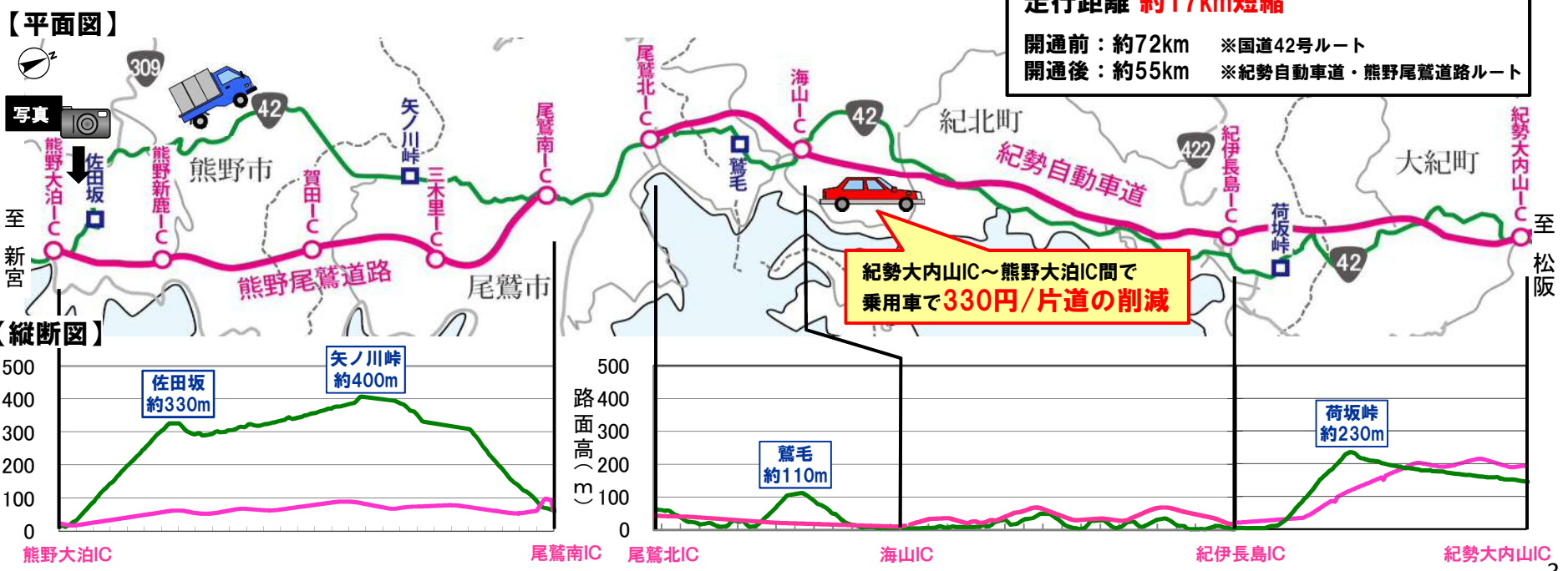
- 国道42号の難所であり、急カーブ・急勾配が連続する**4つの峠が回避**されたことにより、**平均燃費が約12%向上**するとともに、距離も**約17km短縮**され、年間燃料消費量の**約10億円の削減**に繋がりました。
- 三重県トラック協会南紀支部からは、「**高速道路の開通により燃料代の減少を実感**しています」との声がありました。



■三重県トラック協会南紀支部長の声

・紀勢自動車道・熊野尾鷲道路の開通により、燃料の消費量が名古屋～鶴殿間の往復で、約20～30%の違い、コスト削減になっています。

※紀勢国道事務所による三重県トラック協会南紀支部へのヒアリング結果



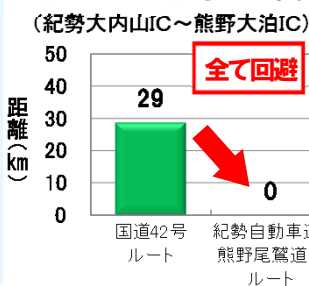
～走行経費の削減(峠の回避によりタイヤの寿命が長持ち)～

■ 国道42号の難所であり、急カーブ・急勾配が連続する4つの峠が回避されたことにより、**タイヤの寿命が長**くなりました。

■ 東紀州地域における急カーブ・急勾配区間

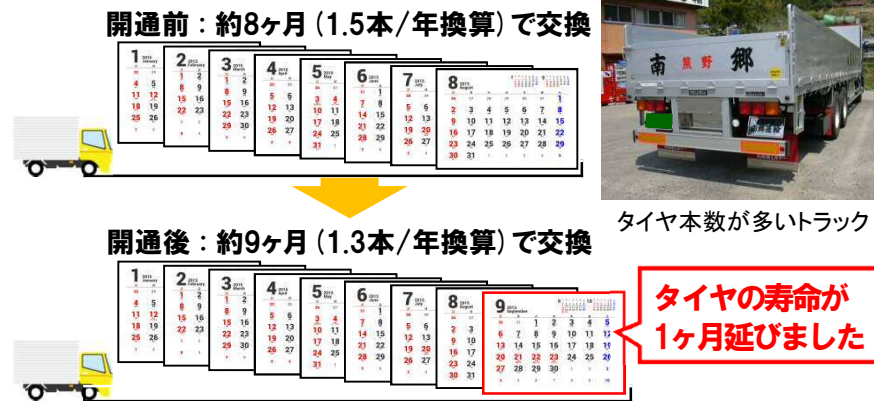


■ 急カーブ・急勾配区間



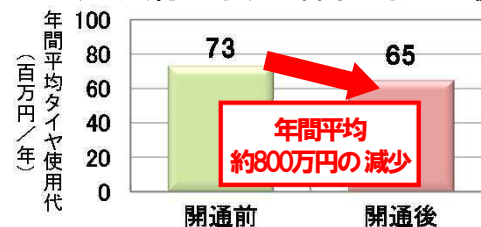
※道路の走りやすさマップ(三重県:平成18年9月)より作成

■ トラックのタイヤ交換までの期間の変化



※紀勢国道事務所による三重県トラック協会南紀支部へのヒアリング結果より作成

■ 三重県トラック協会南紀支部に所属している10t以上のトラック(約110台)の年間平均タイヤ使用代の変化



算出方法: 三重県トラック協会南紀支部へのヒアリング結果からタイヤ使用期間は、開通前8ヶ月(1.5本/年換算)、開通後9ヶ月(1.3本/年換算)とし算出。
年間平均タイヤ使用代は、トラック保有台数よりタイヤ総本数を求め、ヒアリングによるタイヤ価格を乗じ算出。

■ 三重県トラック協会南紀支部長(南郷運輸(有)社長)の声

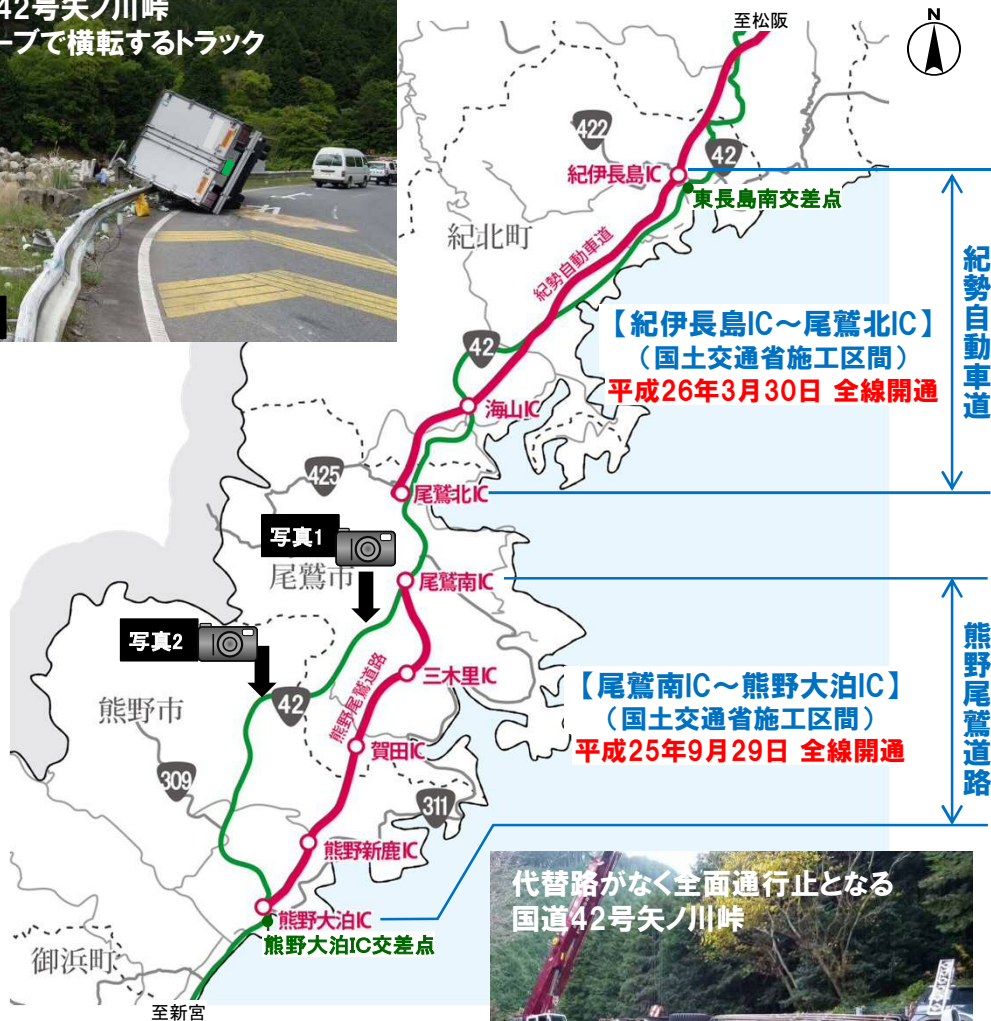
- ・ 高速道路開通前は、熊野事務所のトラックは走行距離8～9万キロでタイヤを交換していましたが、開通後は峠越えをしなくてよくなったため、タイヤ交換までの期間が約1ヶ月伸び、負担の軽減になっています。
- ・ 松阪で仕事をしていた時は、12～14万キロごとの交換であったため道路整備はありがたいです。



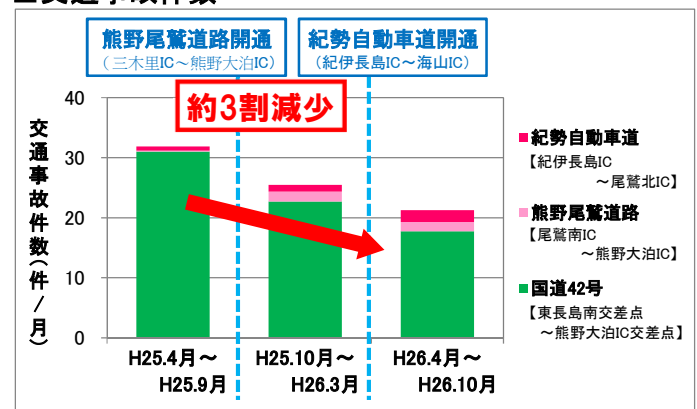
※紀勢国道事務所による三重県トラック協会南紀支部へのヒアリング結果

～高速道路の開通により交通事故が減少～

■ 高速道路と国道42号を合わせた交通事故件数は**約3割減少**。死傷事故件数も**約7割減少**し、**安全で安心な道路**が確保されています。

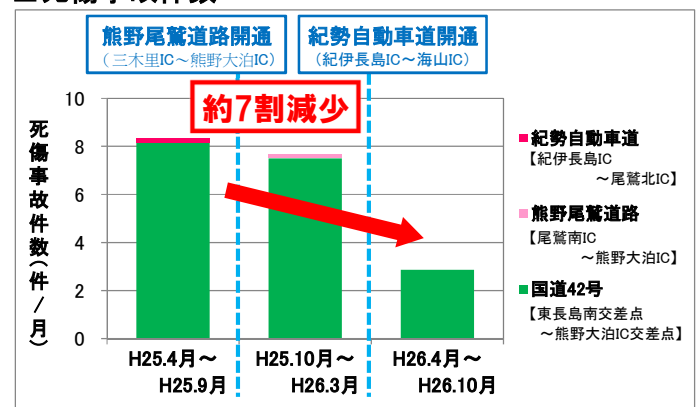


■ 交通事故件数



※交通事故件数: 人身事故(死亡及び負傷を含む)・物損事故の総数

■ 死傷事故件数



※死傷事故件数: 人身事故(死亡及び負傷を含む)の総数

※三重県警高速道路交通警察隊・尾鷲警察署・熊野警察署提供資料より作成

■ 地元警察署の声

・ 高速道路開通に伴い、国道42号の交通事故件数は減少しています。



※紀勢国道事務所による地元警察署へのヒアリング結果

～アクセス向上による地域への経済的波及効果～

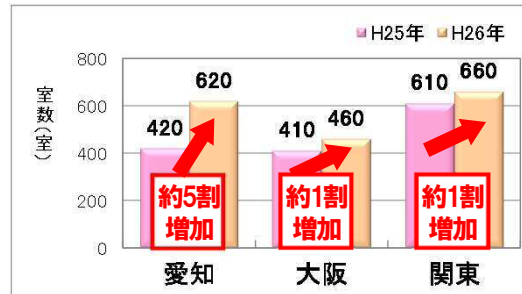
りぞーとくまのくらぶ

- 紀南地域活性化を目的とした「紀南中核的交流施設」である里創人『熊野倶楽部』では、愛知、大阪、関東などの遠方からの宿泊者、初来館の宿泊者が増加するなど、熊野市までのアクセス向上による波及効果がみられます。
- その結果、平成26年度上期(4月～9月)の売上額が平成24年度と比較し約3割増加し、過去最高を記録しました。

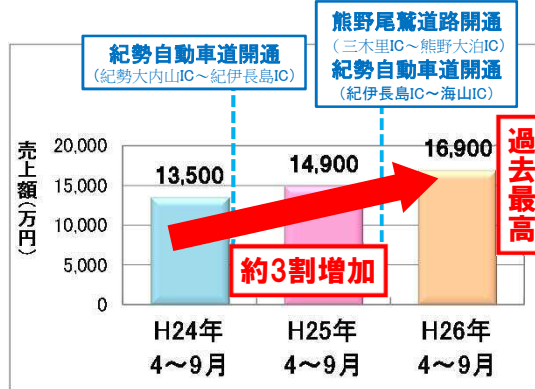
■里創人『熊野倶楽部』の位置



■里創人『熊野倶楽部』 上期(4～9月)の居住地別来訪者の推移



■里創人『熊野倶楽部』 上期(4～9月)の売上額の推移



■里創人『熊野倶楽部』 支配人の声

・高速道路の開通、熊野古道世界遺産登録10周年もあり、非常に多くのお客様に訪れていただいています。

里創人『熊野倶楽部』 ～地域への経済的波及効果～

当該施設は「地域との共存共栄」を第一に運営されており、地域の食材利用・地元住民による体験プログラム、従業員の雇用により、地域へ年間約3.4億円の経済的波及効果があります。

宿泊施設運営に必要な食材・消耗品等は、ほぼ地域産を利用



※サンマ、新姫、熊野地鶏：熊野市観光協会HPより
 ※フリ：尾鷲市役所HPより

従業員(57名)は近隣地域の方々

地域の体験プログラムを観光客へ紹介



約3.4億円/年の経済的波及効果

※紀勢国道事務所・三重県による里創人『熊野倶楽部』へのヒアリング結果より作成

～地域の主要産業の安定供給を支援(尾鷲のさかな)～

- 尾鷲市にある尾鷲物産(株)は、**漁業の6次産業化***に意欲的に取り組む企業。**漁師のサラリーマン化**も実現しています。
- 高速ネットワークが形成され、安定的に供給ができ時間短縮が図られたことにより、**全国各地への安定出荷と出荷地域の拡大**を支援しています。
- また、3次産業分野での取組である地域のアンテナショップ「おわせ お魚いちば おとと」では、平成26年4～9月の**レジ通過客数が約3割増加**するとともに**売上額も約4割増加**するなど、賑わいをみせています。

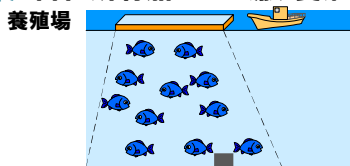
※6次産業化:第1次産業である農林水産業が、生産だけにとどまらず、それを原材料とした加工食品の製造(2次産業)や販売などのサービス(3次産業)に取り組み、経営の多角化を進めること。

■尾鷲物産(株)の概要

- ・尾鷲の元気な企業
- ・漁業の6次産業化(漁・養殖～加工～販売を自社完結)を実現
- ・漁師のサラリーマン化
- ・大手スーパー、全国有数の回転寿司チェーン店へ切り身等を出荷

6次産業(1次産業×2次産業×3次産業)

○1次産業:自社所有船による漁、養殖場の保有



主産品:
ブリ約30万匹を生産

○2次産業:魚の加工(主に切り身の製造)



加工工場(尾鷲市)

○3次産業: 食事の提供と魚の販売



<地域のアンテナショップおととの販売>

自社の販売店で直接販売。



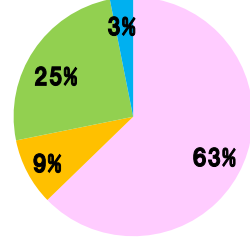
<大手スーパーへ納品>

<全国有数の回転寿司チェーン店へ納品>

※紀勢国道事務所・尾鷲市による尾鷲物産(株)へのヒアリング結果より作成

■尾鷲物産(株)の魚の地域別出荷量(平成26年4～9月)

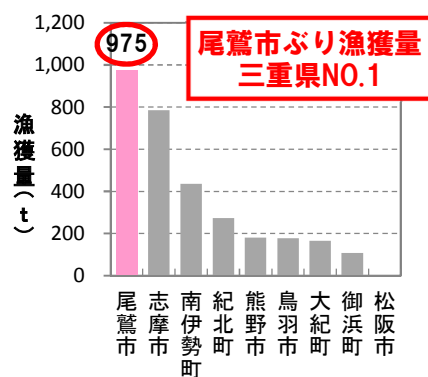
東海地域をはじめ、
関西・関東・北信越地域など
全国へ出荷



■東海地域 ■関東地方 ■関西地方 ■北信越地方

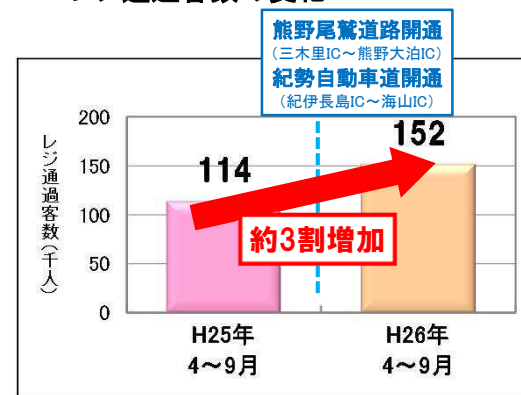
※尾鷲物産(株)提供資料より作成
※寿司チェーン店への発送分は含まない

■三重県市町村別漁獲量(ぶり:平成24年)



※海面漁業生産統計調査(平成24年)より作成
※漁獲量1t以上の市町村のみ

■おわせ お魚いちば おととのレジ通過客数の変化



※尾鷲物産(株)提供資料より作成

■尾鷲物産(株) 参与の声

- ・尾鷲は地理的に日本の真ん中にあり、全国へ魚を出荷するための最適な地域です。
- ・国道42号の通行止が予想される場合は、出荷時間を早めたりしたこともありましたが、高速道路開通後は、工場から確実に出荷することが出来るようになりました。

※紀勢国道事務所・尾鷲市による尾鷲物産(株)へのヒアリング結果



～地域の主要産業の安定供給を支援(三重南紀のみかん)～

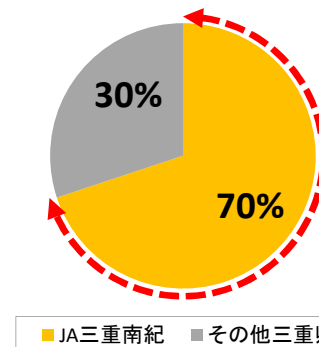
- JA三重南紀(熊野市、御浜町、紀宝町)は、みかんの集荷量が約9,000t(H25年産)と多く、**三重県の約7割**のシェアを占めています。集荷されたみかんは、高速道路を利用し、**主に三重県内・中京圏へ出荷**(約8割)されています。
- 地域では、高速道路の開通と合わせ、**直売店がオープン・リニューアル**するとともに、新姫やマイヤーレモンなどの**ブランド化**にも取り組んでおり、農産物直売所の**入込客数も増加**しています。
- また、JA三重南紀みかんの運送を一手に担う東紀州ネットワーク協同組合からは、「運送時の**荷痛みが減少**するとともに、**通行止の心配が無く安心感が増えた**」との声がありました。

■産地直売所開店状況及びみかんの運送状況



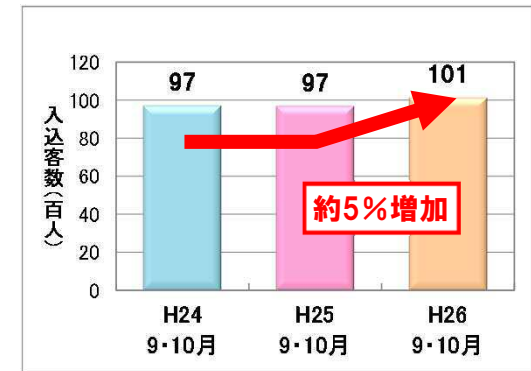
※紀勢国道事務所・御浜町による
JA三重南紀、東紀州ネットワーク協同組合へのヒアリング結果より作成

■三重県におけるみかんの集荷量のシェア(平成25年産)※H25.6～H26.5



※JA三重南紀提供資料より作成

■農産物直売所「さぎりの里」への入込客数の推移



※御浜町提供資料より作成

■東紀州ネットワーク協同組合 代表理事の声

- ・ 高速道路開通前はエアサスペンションを装備した車両のみを使用し、揺れによるみかんの荷痛みを防止していました。高速道路の開通により、曲がりくねった峠道を避けることができ、みかんが痛みにくいという効果を実感しています。
- ・ 高速道路開通前の国道42号通行止時には、代替路が無く、通常2時間程で運送できる松阪市まで、**和歌山方面経由で6時間**かかったこともありま

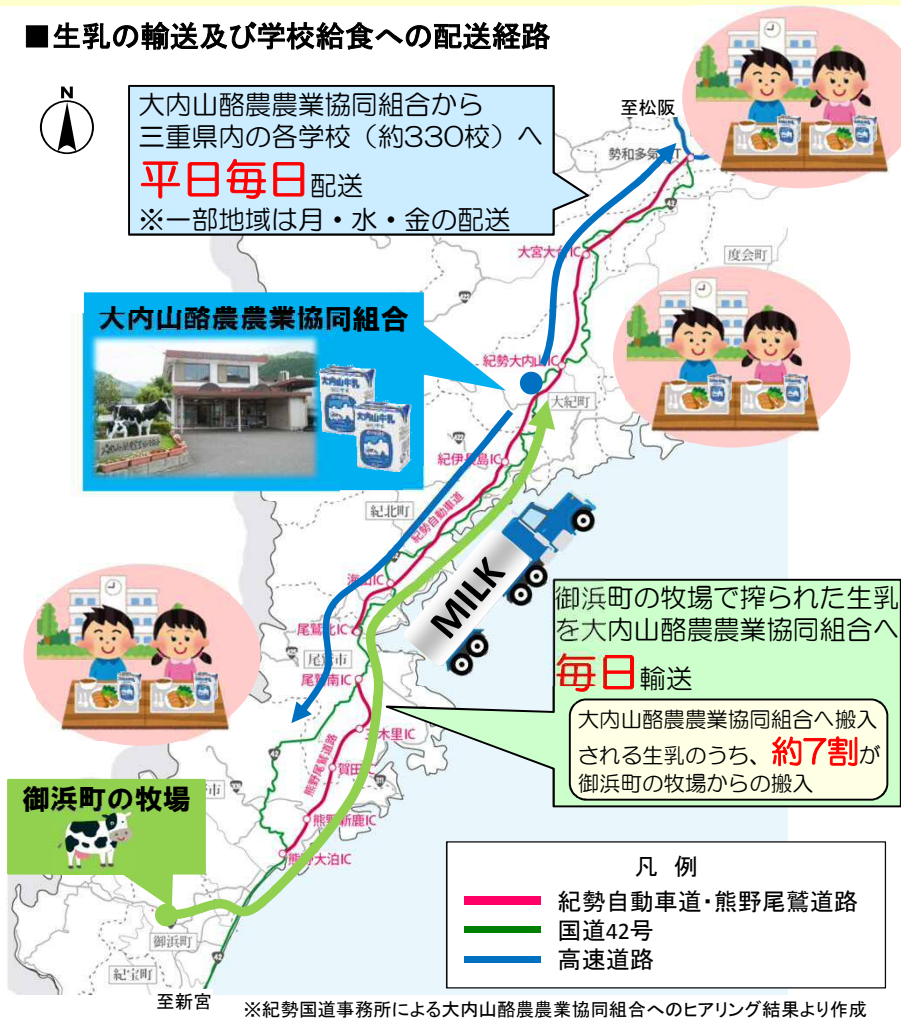


※紀勢国道事務所・御浜町による東紀州ネットワーク協同組合へのヒアリング結果

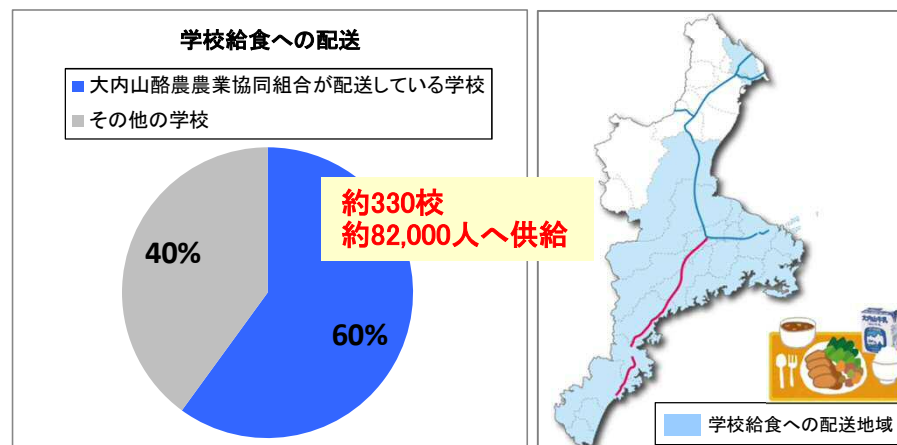
～地域の主要産業の安定供給を支援(大内山牛乳)～

- 三重県の約60%の学校給食へ牛乳を配送している大内山酪農農業協同組合。
- 搾乳は**毎日数回実施**する必要があり、鮮度を保つため、搾乳された生乳は県内各地の牧場から**毎日、大内山酪農農業協同組合へ輸送**しています。
- 生乳の**約7割は御浜町にある牧場から搬入**され、その後、三重県内の**約330の学校へ毎日牛乳を配送**しています。
- 大内山酪農農業協同組合からは、「**国道42号が通行止になった際は、船で配送したこともあり、通行止のない高速道路は非常にありがたい**」との声がありました。

■ 生乳の輸送及び学校給食への配送経路



■ 学校給食への供給状況(平成26年度)



■ 大内山酪農農業協同組合 総務部長の声

- ・ 搾乳した牛乳は鮮度を保つため、毎日工場まで輸送する必要があります。学校給食も毎日あるため、工場からも学校へ毎日配送することが必要となります。
- ・ 紀勢自動車道、熊野尾鷲道路が開通したことで、通行止の心配がなく、牛乳を児童・生徒に安定して届けることができました。
- ・ 平成16年の台風21号による国道42号の土砂崩落災害時には、代替路が無く、やむなく引本港から尾鷲港まで船で配送したこともありました。



～紀勢自動車道・熊野尾鷲道路 全線開通による整備効果～



※黒文字:既に記者発表した整備効果 赤文字:今回記者発表する整備効果

東紀州地域高速道路整備効果検討会

平成26年6月に国・高速道路会社・県・市町が一体となり「東紀州地域高速道路整備効果検討会」を設立しました。

東紀州地域では昨年度、紀勢自動車道・熊野尾鷲道路が開通しました。

高速道路の開通を機に自治体による記念キャンペーン等の取組の結果、当地域には多くの観光客が訪れるなど、高速道路の開通による様々な効果が表れています。

今回、高速道路の開通がもたらした様々な効果を「国・高速道路会社・県・市町が一体」となって、幅広く調査・分析する事で、「個々では見えなかった効果」や「今、地域が必要としている事」などを把握し、それを広くPRする事などにより、東紀州地域の更なる地域活性化に期待しています。



三重県



尾鷲市



熊野市



紀北町



御浜町



紀宝町



中日本高速道路(株)



国土交通省